

1. 本事例集について

1.1 本事例集の目的

我が国の主要な都市圏では、1970年代以降、総合都市交通体系調査（パーソントリップ調査（以下、「PT 調査」）の実施とこれに基づく総合都市交通計画の立案）が継続的に行われ、科学的な分析結果に裏打ちされた都市交通施策の推進に大きく寄与してきた。国土交通省都市局では、総合都市交通体系調査の実施上の技術的助言として 2005 年 10 月に「総合都市交通体系調査の手引き」を策定し、2007 年 9 月には一部改定を行った。以降、現在まで全国各地の都市圏では、この手引きに基づいて、総合都市交通体系調査が実施されてきた。

本事例集は、手引き策定から 10 年以上がたち、調査のより効率的な実施及び結果の有効活用が求められる状況を踏まえ、これまで各都市圏において行われた創意工夫をとりまとめるとともに、新たなデータの活用方法を紹介するものである。

1.2 本事例集の位置づけ

「総合都市交通体系調査の手引き」が策定された 2007 年から 10 年以上が経過し、施策ニーズの変化やビッグデータの登場、全国各地での PT 調査の工夫事例等、が見られる。

こうした要素を踏まえ、国土交通省都市局では、「総合都市交通体系調査の手引き」を補完するものとして、「スマート・プランニング実践の手引き」、「総合都市交通体系調査におけるビッグデータ活用の手引き」、「総合都市交通体系調査の事例集」の 3 つの手引き等を策定した。本事例集は、近年実施された PT 調査等の事例を整理したものであり、「総合都市交通体系調査の手引き」を補完し、より効率的・効果的な調査実施を支援するためのものである。

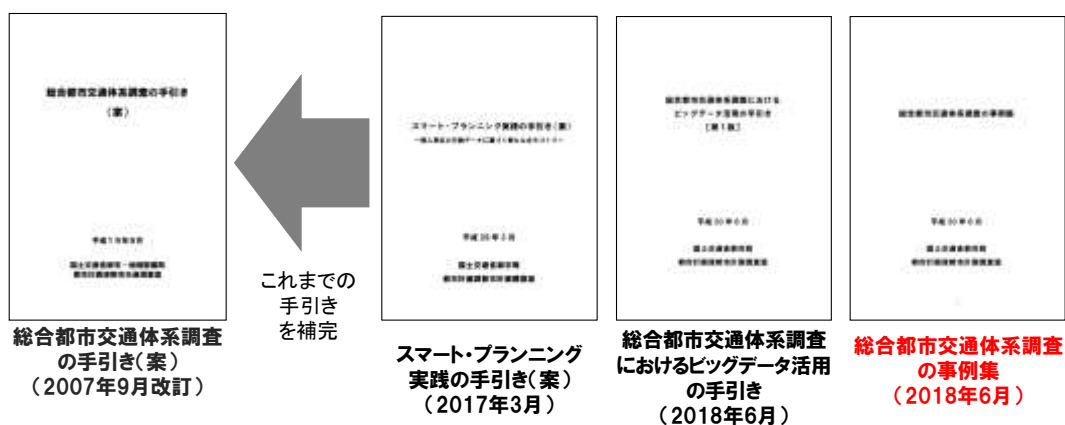


図 1-1 総合都市交通体系調査の事例集の位置づけ

1.3 本事例集の構成

本事例集は、前4章で構成される。

第2章では、パーソントリップ調査の企画や調査実施における工夫事例や効率化の事例を示す。第3章では、PT調査データを用いた現況分析として、従来のOD交通量や交通手段分担率等の分析だけでなく、より個人に着目した分析例や活動に着目した分析例を紹介する。第4章では、データの新たな活用として、交通分野以外での活用可能性や、広くデータを活用してもらうためのデータの提供方法の例について示す。